



けやきっ子

六栄小学校だより 第15号 令和7年7月23日(水) 文責：久保田 真二



学校ホームページ
もご覧ください

みんなの人権が守られる学校に～前期校内人権集会

6月中旬からこれまで、校内人権月間として人権学習に取り組みました。そのまとめ学習として、7月17日(木)の1校時に前期校内人権集会を行いました。休み時間の教室風景のイラストを見せながら、人権担当の宮川先生から「どこかにいじめは、ありませんか？」と投げかけられ、子どもたちはどんな場面がいじめになるかをしっかりとと考え、発表していました。その後は、いじめをしている人だけでなく、いじめを見ている人、いじめを見ても注意しない人もいじめたことと同じになるのです、という話をされました。さらに、「けやきっ子宣言（本校の人権宣言）」についても話され、いじめのない学校にするためにはどうしたらいいか全校児童で考えました。そして、意見交換をしました。暑い中でしたが、子どもたちは人権やいじめについて真剣に考えることができ、貴重な時間になりました。

人権月間は終わりましたが、今後も「いじめのない六栄小学校」、「みんなの人権が守られる六栄小学校」になるように、人権教育を根底に据えた教育活動に取り組んでいきます。



いじめのない学校にするためにどうすればよいか、真剣に考える前期校内人権集会の様子

自ら考え、主体的に行動できる夏休み

明日から8月26日(火)まで34日間の夏休みになりますが、子どもたちは家庭や地域で過ごすことになります。学校から離れ不安をお持ちの保護者の方もおられるかもしれません、私は「夏休みは、子どもが成長できる良い機会」だと思います。普段の学校生活と違いは、自分で考え、主体的に行動しなければならないことが多くなるからです。学校では、先生や友達から「あれをしてください」「こうしてください」などと、指示に従って行動すればよいのですが、夏休み中は、こうはいきません。自分で考え、主体的に行動できれば、いろんなことに挑戦したり、たくさんのことを体験したりできます。一方、何の目標も持たずに時間を無駄に過ごせば、何の成長もない夏休みに終わってしまいます。

前にも書いていますが、「夏休みは成長できる良い機会」です。せつかくの「良い機会」を有効に活用してもらいたいと思います。そのためにも、保護者の関わり方が重要になってきます。是非とも、子どもたちの自主性を促し、自己肯定感を高めるような声掛けをお願いしたいと思います。夏休みが終わった時に、どのような成長を見せてくれるのか楽しみにしています。



夏休みは「すいか」と「ねこ」に注意して！



「すい」…水難事故



「ね」…熱中症

「か」…火事・雷

「こ」…交通事故

5年生、水俣に学ぶ肥後っ子教室

7月18日(金)に5年生は、水俣に学ぶ肥後っ子教室に行きました。人権や環境について学んだことを、今後の生活に生かしてくれることを期待しています。



水俣病資料館で展示資料を見学しながら真剣に水俣病について学ぶ様子



環境センターで地球温暖化について学習する様子

無事に夏休みを迎えた感謝！

今年は例年よりも梅雨が短く猛暑が続きましたが、明日から夏休みになります。4月11日の始業式から本日7月23日まで、1~4年生までは69日間、5・6年生は70日間も登校したことになります。この間、大きな事故もなく、全ての児童がそれぞれに成長してくれました。このことは、保護者の皆さま、地域の皆さまのご理解とご支援のおかげであると心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

夏休み期間中も、六栄小学校全ての児童が健康で、安全に充実した日々を過ごせますようご指導お願いします。

